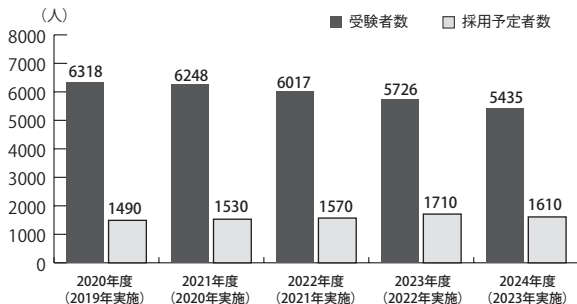




面積	5,173 km ²
人口	7,467,704 人
県の花	カキツバタ
県の木	ハナノキ
県の鳥	コノハズク

求める教員像	1.広い教養と豊富な専門的知識・技能を備えた人 2.児童生徒に愛情をもち、教育に情熱と使命感をもつ人 3.高い倫理観をもち、円満で調和のとれた人 4.実行力に富み、粘り強さがある人 5.明るく、心身ともに健康な人 6.組織の一員としての自覚や協調性がある人
出願期間	公開日 4月26日(金) 電子申請 4月26日(金) 10:00~5月10日(金) 17:00
試験日程	1次試験 試験日 6月15日(土) 合格発表日 7月8日(月) 2次試験 試験日 個人面接:7月20日(土) 実技試験:7月21日(日) 合格発表日 8月30日(金)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	【小】 【中】国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語 【高】国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 美術, 保健体育, 家庭, 英語, 商業, 工業(機械, 電気, 建築, 化学工業, セラミック), 農業, 看護, 情報, 福祉 【特】(小)(中高)国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語, 工業(機械) 【養】(小中)(県立) 【栄】
特記事項	■特別選考 ●英語有資格者特別選考 [中・高・特]英語志願者で、規定の要件を満たす者は、2次の実技を免除。 ●昨年度の補欠者に対する特別選考 昨年度の試験結果が「補欠」であり、同一の受験区分・教科等で受験する者は、1次を免除。 ●現職教諭特別選考 国公立の正規教諭等で、令和6年4月1日現在、通算3年以上の勤務実績を有する者は、1次の教職・一般を免除。 ●元教諭・講師経験者特別選考 令和6年4月1日以降に、名古屋市立を除く県内公立学校の職員として勤務し、所属長の推薦があり、規定の勤務実績がある者は、1次の教職・一般又は一次の全てを免除。 ●教職大学院修了見込者特別選考 1次を免除。 ●大学院進学による採用辞退者に対する特別選考 令和4年度試験に合格し、大学院進学を理由に採用を辞退した者、令和5年度試験に合格し、大学院進学又は在学を理由に採用を辞退した者、令和6年度試験に合格し、大学院在学を理由に採用を辞退した者で、規定の要件を満たす者は、2次の個人面接のみ。 ●介護理由退職者特別選考 名古屋市立を除く愛知県内公立学校の正規任用教員であった者で、介護を理由に退職した者は、2次の個人面接のみ。 ●大学3年生等前倒し特別選考 1次のみ実施。1次合格者は、令和8年度試験の1次を免除。 ■障害者選考 障害の種類や程度に応じた配慮。 ●障害者選考 別枠で選考。 ●障害者大学推薦選考 在学・卒業した大学の学長、又は学部長の推薦が得られた者。別枠で選考。

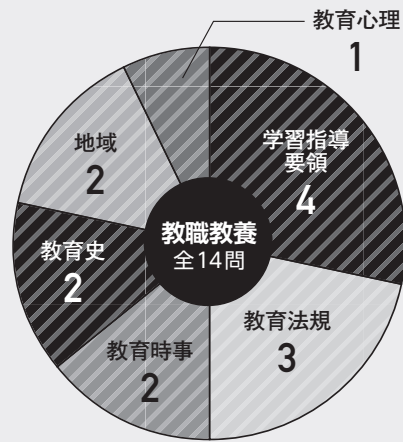
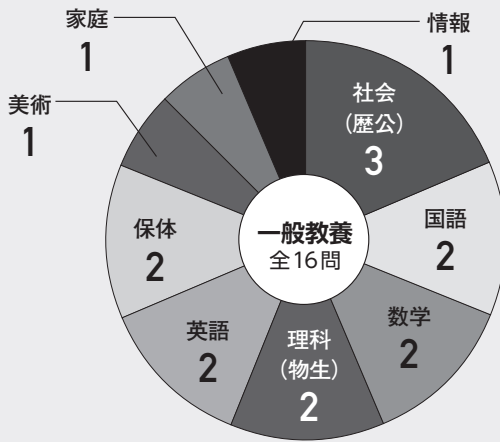
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	28,691	6,859	1,095
不登校(人)	7,408	13,367	2,908

2025年度(2024年実施) 筆記試験DATA



*「地域」には「教育時事」、「生徒指導」も含まれる。

- ▶ 教育時事で必出のご当地問題
- ▶ 教育法規は憲法と教育基本法
- ▶ 人文科学は英語(会話文)が中心

〈教職教養〉のうち、**学習指導要領**では総則が必出である。今年度は、小学校学習指導要領から「第2教育課程の編成」、中学校学習指導要領から「第1中学校教育の基本と教育課程の役割」が、それぞれ出題された。このほか、高等学校学習指導要領から「第5章 特別活動」に関する問題や、教育原理の特別支援教育とも重複するが、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領に関する問題もみられた。

生徒指導では、教育時事と重複するが、「愛知県いじめ防止基本方針」(2017年)が出題された。

教育時事のうち、ご当地問題は必出である。今年度は、「愛知県教員育成指標」(2022年)から「愛知が求める教員像」の理解を問う問題等がみられた。国レベルでは「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告」(2021年)等が出題されている。

教育法規では憲法と教育基本法が必出である。今年度、憲法では第17, 20, 68条が、教育基本法では第1, 2, 14条が、それぞれ出題された。このほ

か、学校教育法も出題された。条文のキーワードを押し返ることが重要である。

教育心理ではさまざまな領域から出題されている。今年度はホスピタリズムの理解を問う問題がみられた。重要人物・理論を幅広く押さえておくことが必要である。

教育史のうち、西洋教育史では、ケルシェンシュタイナー、カント、オウエン等に関する問題がみられた。日本教育史では、第二次世界大戦後の教育制度が出題された。

〈一般教養〉のうち、**人文科学**では英語(会話文)を中心として、国語、美術、保健体育、技術・家庭から幅広く出題されており、今年度も同様であった。**社会科学**では例年、経済と倫理以外の分野から出題されており、今年度は世界史(ヨーロッパ近代、東洋史、第一次世界大戦)と日本史(江戸、昭和時代)、政治(国際政治)に関する問題等が出題された。**自然科学**では例年通り、数学と理科全般に加えて、情報(用語)等から出題された。